

【学校教育目標】

生きる力の育成

【研究主題】

言葉で伸ばす子どもの力 ～自ら問い、自ら考える子どもの育成をめざして～

＜教師の願い＞

- ・互いに認め合い、誰とも仲良くできる子
- ・自分の思いを伝え、相手の思いをきける子
- ・えがおで、場に応じたあいさつのできる子
- ・何事にも、ねばり強く最後まで取り組む子

＜児童の実態＞

- ・素直で、指示されたことには、まじめに取り組む。
- ・互いの考えを伝え合い深め合う力は十分ではない。
- ・相手の立場を考え行動するのは、やや苦手である。
- ・場に応じた挨拶や言葉遣いが、よくなりつつある。

＜保護者・地域の願い＞

- ・明るく思いやりのある子になって欲しい。
- ・友だちと仲良くできる子になって欲しい。
- ・確かな学力と学ぶ力を身に付けて欲しい。
- ・ふるさと福井を愛する子になって欲しい。

☆めざす児童像☆

○ 進んで学ぶ子

○ 思いやりのある子

○ がんばりぬく子

【重点目標】

「学力向上」

- ◎基礎基本の定着と活用力の向上
- 言語活動を重視した指導法の工夫
- 家庭と連携した読書活動の推進

「安全安心な学校」

- ◎挨拶、言葉が響き合う学校づくり
- いじめがなく仲の良い集団づくり
- 子どもがほっとする居場所づくり

「健康な体と心」

- ◎体を動かすのが好きな子
- 最後までがんばりぬく子
- 人権が尊重される環境づくり

「家庭・地域との連携」

- ◎ふるさと学習の推進
- 便りやホームページの充実
- 情報モラル教育の実施

具体的な取り組み

- ◎授業公開・研修参加による指導力の向上
  - ①一人2提案授業実施と参観者の感想共有。
  - ②UD化による、わかる授業づくり。
  - ③研修・研究会内容の報告による情報共有。
- 豊かな言語環境づくり
  - ①行事や集会後、感想や学びを文章化。
  - ②教員と児童が、会話でつながる学校運営。
  - ③英語に親しむ環境・掲示物づくり。
- 読み聞かせ・新聞活用による読書推進。

《数値目標》

・国語・算数の授業が楽しい児童	88%以上
・授業中に発表できた児童	73%以上
・図書室の利用、年間25冊以上	80%以上
・指導力の向上を実感できた教員	94%以上

- ◎挨拶活動・言葉遣い運動の活発化
  - ①児童会・委員会主体の取組実施。
  - ②教職員が手本を示す接遇力向上。
- 互いに認め合える学校づくり
  - ①自他の良い点を尊重する心の醸成。
  - ②生き方や人権を考える道徳授業の推進。
  - ③縦割り班・異学年・他校交流活動の実施。
- みんな仲良く、いじめのない学校づくり
  - ①いじめやいたずらの早期発見と解消。
  - ②月2回45分のロング昼休みの有効活用。

《数値目標》

・挨拶強化週間 1回/学期 指導	2回/学期
・すすんで挨拶ができる児童	86%以上
・学校へ通うのが楽しい児童	96%以上
・悩みを誰かに相談できる児童	70%以上

- ◎進んで運動する子の育成
  - ①体育好き、運動好きの子どもの育成。
  - ②陸上・水泳・器械運動の指導力向上。
- 心を磨く清掃活動への改善
  - ①班長・高学年児童のリーダー養成。
- 基本的な生活習慣と規範意識の醸成
  - ①夢や目標を話し合える場の設定。
  - ②学級での、人権に関する善行の紹介。
- 食に関する指導と食育体験学習
  - ①給食・食育学習のねらいの明確化。

《数値目標》

・児童の運動への満足度	90%以上
・無言清掃の実施	90%以上
・朝食97%以上 虫歯治療	82%以上
・体力テスト記録	75%で県平均以上

- ◎地域理解とふるさと学習の推進
  - ①「地域と進める体験推進事業」の継続。
  - ②校区内外の保幼小中や施設との交流。
- 保護者・地域との連携
  - ①学校の情報が伝わるホームページ運営。
  - ②通級・特別支援・教育相談他への対応。
- 危機管理体制の確立
  - ①避難・防災訓練を通じての防災教育。
  - ②ネット利用や情報モラルの保護者啓発。
  - ③家庭と連携したスマートルールづくり。

《数値目標》

・保幼小の意見交換と交流会	5回以上/年
・ネット利用の家庭ルール作成	75%以上
・地域活動に参加する児童	82%以上
・ふるさと鯖江が好きな児童	89%以上